

第73回

# スケート 山梨 神奈川 国体

第5日

第73回国民体育大会冬季大会のスケート・アイスホッケー競技会は第5日の31日、山梨、神奈川両県で4競技を行った。県勢はアイスホッケー準決勝で、成年が埼玉を4-2で破り、2年連続で決勝に進んだ。少年は栃木に0-2で敗れた。スケートは、スピード少年男子1500mで清川一樹(八戸西)が6位、成年男子1500m以上の山本大史(八戸西出、明大)が7位、

成年女子1500mの古庄亜衣(八戸学院大)が8位とそれぞれ入賞した。このほか、少年男子5000mで毛利信太郎(八戸西)、根城知哉(同)が決勝に駒を進めた。最終日の2月1日、県勢はスピード6種目とショートトラック1種目に出場。アイスホッケーは成年が北海道との決勝戦に、少年が神奈川との3位決定戦に臨む。(古川靖隆、泉匠哉)

## 1500m 成年 山本(八戸西出)7位、古庄(八学大)8位

「力出し切れた」  
○…成年女子1500m  
準決勝で8位に終わった古庄(八戸学院大)。「スタートダッシュで足が疲れ、集団に離されて戦えなかった。悔しかったけど最後の年に入賞できて良かった」と爽やかな表情を見せた。  
3月に卒業予定で、小学3年生から続けてきたスケート競技への出場に一区切りを付ける。春からは北海道で養護教諭と



「最後の人生が始まる。」「て良かった。北海道で指導にも携わりたい」と、「最後に力を出し切れ」「元チームなどがあれば指ほほ笑んだ。」

【スピード成年女子1500m準決勝】最後の国体で8位入賞を果たした古庄(八戸学院大)